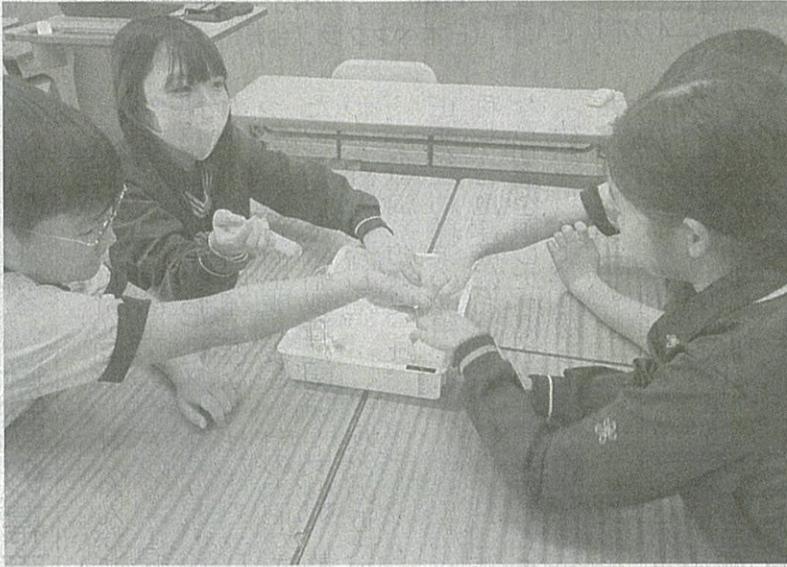


下着製造・販売  
檀原の「タカギ」

## 近大付属小で出前授業



ナプキンを使った実験で、生理について学ぶ近畿大付属小の児童＝2月、奈良市

学童期、生理について学ぶ機会  
は多くない。正しい知識を身につけ、安心して成長していき  
るよう、近畿大付属小(奈良市)  
は男女が一緒に生理について学  
ぶ授業を2021年度から続け  
ている。

# 男女で正しい 生理の知識を

下着を製造・販売する「タカギ」(檀原市)が協力し、今年2月、4年生を対象に同社社員が生理の仕組みや生理用品について授業した。  
ナプキンに水を垂らし、どれだけ吸水するか実験、児童は「すごく吸っている」と驚いた様子だった。「修学旅行で友人のスポンに血が付いていた場合、どう対応するか」を考えるグループワークで、ある男児は「小声で教える」と回答。「服で隠してあげる」という女児もいた。永田朗教諭は「今回の授業が、お互い

### 仕組み、用品説明など

を認め合うことを考えるきっかけになったと思う。男女を分けて、合同で実施して良かった」とした。  
タカギは18年に出前授業を始め、奈良県内を中心に20回以上授業してきた。同社の草間美帆取締役は、この授業をやっていることに良かったと感じるのは、男子児童が生理について考えてくれるようになった時だと説明。「男には関係ない、知らなくてよい、という認識を少しずつ変えていけている実感がある」としている。

「男子の認識変化を実感」